



アジソン病（副腎皮質機能低下症）

■ 病気の概要

副腎皮質から分泌されるコルチゾール・アルドステロンというホルモンが不足する病気です。クッシング症候群とは逆のホルモン不足の状態です。若～中齢の雌犬に多く、プードル・パピヨン・グレート・デーンなどに好発します。多様な症状を示すため「グレート・イミテーター」と呼ばれ、診断が遅れることもあります。

■ 主な症状（飼い主さんが気づくサイン）

- ・嘔吐・下痢（繰り返す）
- ・トリミングや外出などのストレスをきっかけに繰り返す下痢
- ・元気消失・食欲不振
- ・体重減少
- ・多飲多尿
- ・虚弱・ふらつき
- ・急性の虚脱・ショック（アジソンクライゼ）

■ どんな検査をするの？

- ・血液検査（低ナトリウム・高カリウム血症が特徴的）
- ・ACTH 刺激試験（確定診断）
- ・尿検査
- ・心電図（高カリウムによる不整脈の評価）
- ・腹部超音波検査

■ 治療方法

内科治療	外科治療
・緊急時：点滴・ステロイド静脈投与（アジソンクリーゼの治療） ・長期管理：フルドロコルチゾン（ミネラルコルチコイド補充）の内服 ・プレドニゾロン（グルココルチコイド補充）の内服 ・DOCP（注射型ミネラルコルチコイド）の注射	・基本的に外科治療の適応なし

■ ご家庭で気をつけること

- ・ストレスを避ける（引越し・手術・旅行の際は投薬量増量を相談）
- ・薬の飲み忘れは危険です。確実に継続してください。
- ・嘔吐・元気消失の早期受診
- ・定期的な血液検査（3～6ヶ月ごと）

■ よくある質問

Q. アジソンクリーゼとは何ですか？

A. 急性副腎不全でショック状態になります。数時間で危険な状態になるため、緊急の点滴・ステロイド投与が必要です。

Q. 一生薬を飲み続けますか？

A. はい。生涯にわたる補充療法が必要ですが、薬でコントロールすれば通常の生活が可能です。

Q. 「ストレスで下痢する」だけでもアジソン病ですか？

A. 確定診断には ACTH 刺激試験が必要です。繰り返す症状がある場合は一度検査を受けることをお勧めします。

■ なつ動物病院での診療について

ACTH 刺激試験で確定診断を行い、適切な補充療法と長期管理をサポートします。「繰り返す嘔吐・下痢・元気消失」がある場合はご相談ください。夜間・時間外の場合は、北九州夜間救急動物病院（車で約 40 分）または福岡夜間救急動物病院（車で約 90 分）をご利用ください。

なつ動物病院 気になることがあれば、予約外でもお気軽にご来院ください